

全老健大会山口に参加しました

今回の全国介護老人保健施設大会は山口県で開催されました。いづみからは2演題の発表に加えて入所課のむらたさんが令和7年度公益社団法人全国老人保健施設協会表彰を受賞致しました。大会には3千人を超える参加者が集い、各々の施設の情報交換や著名人の講演などが行われました。

私達多くの施設の取り組みに触れ、また心機一転邁進しようと気運を高める機会にもなりました。次回は栃木県での開催です。今年も発表ができるよう取り組みを進めて参ります。

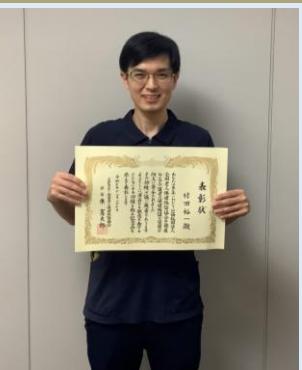
いしださん 「主体的な活動の広がりを求めて」



かとうさん 「バーセルインデックス(BI)を活用したケアの統一化」

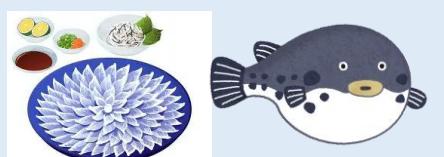


協会表彰を受賞致しました！



入所課むらたさんが全国老人保健施設協会表彰を受賞致しました。全国の大会で名誉ある賞を頂けたことはいづみケアセンター職員全員にとってとても光榮なことです。これからも一層職務に励み全国の老健に向けて発信しつづけようと思います。

参加者全員の集合写真です



■ スタッフブログ

広報誌だけではお伝えする事が出来ない施設での取り組みや、日々の行事等を載せてています。是非一度下記 URL にてご覧下さい。



<https://www.kokoro.or.jp/izumi-care/>

編集後記

明けましておめでとうございます。今年も皆様に向けて当施設の出来事を発信して参ります。良い一年にしていきたいと思います。宜しくお願ひ致します。

たかい



いづみのホームページ <https://www.kokoro.or.jp/izumi-care/>



介護老人保健施設いづみケアセンター



〒355-0807 埼玉県比企郡滑川町和泉 873
TEL: 0493-56-6123 FAX: 0493-56-6124



「謹賀新年」

事務長
高井 康孝

いづみケアセンターは介護老人保健施設(以下、老健)として、平成9年11月に開設されました。

ここで老健が誕生したいきさつについて触れたいと思います。1980年代頃まで、高齢者が疾病や障害等の理由で要介護状態となった場合、受け入れ先は病院と特別養護老人ホームが中心でした。しかし、長期に亘る入院や在宅サービスへの移行の立ち遅れなどが問題視され、1987年に医療ケアと日常生活サービスを総合的に提供する新しい施設として老健が創設されました。全国で7施設がモデル事業として開設し、私達の礎となっております。その老健の役割は、病院を退院し自宅での生活を取り戻すための在宅復帰支援、自宅での生活を少しでも長く続けるための在宅生活支援施設と位置づけられ現在でもその主軸は変わっていないと感じます。「住み慣れた我が家で暮らしたい」という思いは誰しもが願うところで私達もその思いに応えることを使命と感じております。また、近年の高齢化の状況に対応していくため看取り支援、介護予防事業への関与なども大きな老健の役割となってきたと感じます。私共の施設でも昨年は12名の方をお看取りさせて頂き、また地域の介護予防事業にリハビリ職員が参画し始めたところで地域とのつながりも広がりつつあります。また昨今の人手不足はまさに私達の施設でも他人事ではなくなり、現場に大きな影響をもたらしております。外国人労働者の受け入れ、介護テクノロジーの導入に加え、介護助手の導入も検討しているところとなります。

ここまで介護現場を取り巻く実情をお伝えしてきたが、老健は多様なニーズにお応えするため現場は日々奔走しているというのが正直なところです。事務長として私の役割は上記させて頂いた老健の役割を全うするため、職員が集まる環境を構築し、徐々に老朽化する設備に対応し、長期に亘って経営が健全に成り行くようにすることだと考えております。私自身まだまだ未熟者です。日々学ぶ姿勢をもち、人のネットワークを頼り、当施設の発展に貢献していきたいと考えます。いづみケアセンターが地域の皆様の拠り所として頂ける施設になれるよう今年も一年、働いて、働いて参ります。

秋の味覚 焼き芋大会

寒い季節にピッタリな企画です。今回多くの利用者様が旬の味を楽しみに参加されました。こんがり焼き目が付いた芋は熱々の出来立て！じっくりと焼き上げたお芋は黄金色で食欲が増します！中庭は焼けたお芋の香りが満ちていきました。早速、出来立てを頂きながら秋の味覚を堪能しました。中庭の会場に足を運んで頂きお待ち頂いた甲斐がありましたね♪満面の笑顔で「美味しいよ！良く出来てるよ！」と好評の声を頂きました。風物詩である焼き芋企画。大盛況の中、満腹になるまでお芋を堪能する事が出来ました！



サンタが来る♪メリークリスマス



毎年恒例♪12月25日にクリスマスイベント開催！誰がサンタなのか？利用者様の期待に応えるべくスタッフも気合いが入り、いつもよりテンションも上がります！楽しみにされていた利用者様の前に、サンタが大きなプレゼント袋を担いで各番館に登場すると利用者様も笑顔でお出迎え。一年の最後を飾るイベントに相応しい賑やかさとプレゼントをお届け。参加者全員でワイワイと賑やかな楽しい時間を過ごす事が出来ました。

季節の湯「ゆず湯」



12月22日から6日間冬至のゆず湯を開催。湯気の漂う浴槽にぷっかり浮かぶ黄色がなんとも可愛らしく、柚子湯が年の瀬を感じさせます。爽やかな香りが浴室に広がり、利用者様の反応も上々に「冬至に柚子湯はいいよね！」「温まったよ！」と皆さまからも好評でした。一年の疲れが吹き飛ぶような季節湯に浸かり、体も心も温まる、この時期に相応しいイベント浴が開催できました。今年も新たな季節湯を企画しておりますので、ぜひお楽しみに！

通所 忘年会



12月15日(月)16日(火)で通所忘年会を開催しました。いづみ認定！通所アイドル！オバタリアンズが会を盛り上げ、さらに職員がアイドルグループに扮して名曲「年下の男の子」を披露しました。大勢の利用者様からの熱い声援や爆笑に満ちた楽しいひと時となりました。今年も通所企画にご期待ください！

ハンドメイド干支作り



毎年恒例となっていますハンドメイド干支の貼り絵。今年2026年は「午年」です。今回多くの利用者様のお力を拝借し、素晴らしい作品が見事完成しました。たてがみフサフサのとっても可愛いらしい作品ですね！更に、もう一つお正月飾りも作って頂きました。1パーツごと、丁寧に仕上げて下さいました。

■リハビリ通信

滑川まつりでかき氷

11月3日に滑川町役場にて滑川まつりが開催されました。いづみケアセンターはこの時期ピッタリとは言えませんが、天気も上々の中でカラフルなかき氷を提供。お子様連れから好評で300杯近くを売り上げ、多くのお客様が長い列を作り買い求めて下さいました！



今年度より、いづみケアセンターのリハビリ課では、嵐山町の介護予防事業に関わることとなりました。介護予防事業は、地域で生活する高齢者が安定した生活を送り、機能低下を予防・軽減し、社会からの孤立をなくすことなどを目指した、各市町村で実施する事業です。嵐山町でも、地域住民が主体となって町内会単位で定期的に集い、体操など通していきいきとした生活が送れるように各種事業を展開しています。リハビリ課ではそうした地域ごとの集まりに参加して、体操の指導や、「出前講座（健康維持の話）」など、介護予防に繋がるような取り組みを行っています。地域で過ごされている方々との交流は、私たちにもたくさんの学びをもたらしていただけますし、充実した地域生活の一助になれるることを励みにして、今後もこの取組を大切にしていきたいと考えています。

